



川村学園女子大学ニュース

No.2018-6

2018年6月25日

報道機関各位

川村学園女子大学 日本文化学科

川村学園女子大学 文学部 日本文化学科 公開講座

「現代を生きる光源氏」

平安時代の物語文学『源氏物語』は、人びとに愛されながら1000年ものあいだ読み継がれてきました。私たちが愛し続ける以上、いま現在も「生きて」いる物語だといえるでしょう。

しかし、私たちは必ずしも物語の原文そのものに触れているわけではありません。現代語訳、小説、演劇、映画、漫画、アニメーションなど、様々な形となって現れる『源氏物語』を愛してきたのではないのでしょうか。

本公開講座では、『源氏物語』を、過去のものとしてではなく、現代を「生きて」いる物語として見ていきます。『源氏物語』研究を牽引されているふたりの女性研究者をお迎えし、様々な角度から『源氏物語』の魅力に迫ります。

* * * * *

●三村友希氏

「光源氏と女、妻、母たちの源氏物語——本文・現代語訳・漫画から——」

●橋本ゆかり氏

「恋する瞬間！ 宝塚歌劇と光源氏」

日時：2018年9月22日（土） 14:00～15:30（開場13:30）

会場：川村学園女子大学 我孫子キャンパス 14号館大教室

司会：日本文化学科講師 千野裕子

※入場無料、事前申し込み不要

【講師プロフィール】

●三村友希

跡見学園女子大学兼任講師。博士（文学）。専門は『源氏物語』を中心とした物語文学。『姫君たちの源氏物語』（翰林書房、2008年）、「死と再生の『源氏物語』宇治十帖―枯れ急ぐ大君と朽木願望の浮舟」（『日本文学』2017年9月）、「『数ならぬ』『数まへられぬ』中将の君」（『源氏物語 煌めくことばの世界Ⅱ』翰林書房、2019年）などがある。

●橋本ゆかり

東京女子大学非常勤講師。名古屋大学大学院修了、博士（文学）。日本古典文学、表象文化を研究。単著『源氏物語の〈記憶〉』（翰林書房、2008年）、論文に「光源氏の青海波と『袖振り』」（『物語研究』17号、2017年）「宝塚歌劇『あさきゆめみしⅡ』と『源氏物語』」（『源氏物語 煌めくことばの世界Ⅱ』翰林書房、2019年）など。

この件に関するお問い合わせは 日本文化学科 電話 04-7183-6027、
又は事務部 熊谷 電話 04-7183-0111 までご連絡ください

川村学園女子大学
文学部日本文化学科
平成30年度公開講座

いま 現代を生きる光源氏

1000年の時を経てなお愛され続ける『源氏物語』
この物語は私たちと一緒に現代を生きています
様々な形となって現れる物語の姿を見つめていきましょう

司会：千野裕子（本学講師）

「光源氏と女、妻、母たちの源氏物語

——本文・現代語訳・漫画から——

講師：三村友希先生

跡見学園女子大学兼任講師。博士(文学)。専門は『源氏物語』を中心とした物語文学。『姫君たちの源氏物語』(翰林書房、2008年)、「死と再生の『源氏物語』宇治十帖—枯れ急ぐ大君と朽木願望の浮舟」(『日本文学』2017年9月)、「『数ならぬ』『数まへられぬ』中将の君」(『源氏物語 煌めくことばの世界II』翰林書房、2019年)などがある。

「恋する瞬間！ 宝塚歌劇と光源氏」

講師：橋本ゆかり先生

東京女子大学非常勤講師。名古屋大学大学院修了、博士(文学)。日本古典文学、表象文化を研究。単著『源氏物語の(記憶)』(翰林書房、2008年)、論文に「光源氏の青海波と『袖振り』」(『物語研究』17号、2017年)、「宝塚歌劇『あさきゆめみしII』と『源氏物語』」(『源氏物語 煌めくことばの世界II』翰林書房、2019年)など。

日時：平成30年9月22日(土) 14時～15時30分(13時30分開場)

会場：川村学園女子大学 我孫子キャンパス 14号館大教室

(事前申し込み不要・入場無料)



【交通案内】

JR常磐線「天王台」駅下車、「天王台駅北口」発、「NEC日本電気前」または「川村学園女子大学」下車 徒歩2分

*駐車場に限りがありますので、できるだけ公共の交通手段をご利用ください

【お問合せ先】川村学園女子大学

〒270-1138 千葉県我孫子市下ヶ戸 1133

TEL:04-7183-6027(日本文化学科) 04-7183-0111(代表)

*土日および8月11日～18日は休業となります